

ASAHI MACHI

Public Relations

① 広報 あさひまち

夏の終わりに咲く大輪の花



No.778

【第 60 回 全日本女子剣道選手権大会出場】

山形県代表 川村優貴乃（大谷第五）

埼玉県代表 志藤 綾子（川通出身）

【第 11 回 日整全国少年柔道形競技会出場】

東北代表 熊谷 董（宮 宿 小6年／緑町）

阿部 陽菜（西五百川小6年／常盤）



川村優貴乃さん（写真左）と志藤綾子さん（写真右）



熊谷董さん（写真左）と阿部陽菜さん（写真右）

ひなこ 東海林妃那子さんが東北大会剣道女子個人で第2位



8月5日に行われた令和3年度東北中学校体育大会剣道競技において東海林妃那子さん（本町）が女子個人戦で第2位に輝きました。また、8月22日に行われた令和3年度全国中学校剣道大会では、女子個人の2回戦でシード選手を下すも3回戦で惜敗。敢闘した東海林さんは「日頃、先生方に指導していただいたことを信じて戦いました。この経験を生かし高校では日本一を目指して頑張りたいです」と話しました。

全国で活躍するアスリートたち

9月19日に奈良県橿原市で行われる第60回全日本女子剣道選手権大会へ山形県代表として川村優貴乃さん（大谷第五）、埼玉県代表として志藤綾子さん（川通出身）が出場します。同大会は数ある大会の中で最も栄誉ある剣道大会として位置付けられており、同大会に町関係者2人が出場するのは初めての事です。出場する2人にお話を聞きました。

選手権初出場の川村さんは「小学生の時に先輩方が全国優勝した記事を見て憧れていました。今回その先輩と同じ大会に出れることを誇りに思い、全力で戦います」と話します。出場6回目となる志藤さんは「後輩の川村が先に全日本出場を決めたの

で、地元の後輩と一緒に出たいという思いをパワーに代えて予選を勝ち抜きました。挑戦者のつもりで二戦一戦悔いがないように頑張ります」と意気込みを語りました。

また、11月21日に講道館（東京都）で行われる第11回日整全国少年柔道形競技会へ東北代表として朝日柔道スポ少の熊谷董さん（緑町）・阿部陽菜さん（常盤）の組が出場します。技を掛ける「取」と受ける「受」、2者の連携が問われる「形」競技。出場する2人は「これまで先生に教わってきたことをしっかりと実践し、全国大会でも良い成績を収めることができますよう、東北代表として頑張ります」と話しました。

目次 ◎ CONTENTS

- P2 ・ 町長歳時記
- P3 Pick Up News
全国で活躍するアスリートたち
- P4 特集
元気な体で豊かな生活を
- P8 町政スポット
・ まちの未来について話し合う会議が行われました
・ 東京2020パラリンピック採火式 ほか
- P10 : 町職員の人事と給与
- P12 9月9日は救急の日 目の前で人が倒れたそのときに
- P14 まちレポ
・ ワイン仕込み作業「安全祈願祭」
・ 第60回寒河江西村山地区少年の主張大会
・ 豊龍神社「夜間参拝」 ほか
- P16 健康あさひるばんざい
朝日町エコミュージアムサテライト散策
- P17 それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 ALT のオリビア先生が帰国します
- P19 戸籍のまど、となりのリンゴさん、クラウドファンディングを活用して平区に自動販売機が設置されました
- P20 2021年度 おうちでワインまつり

表紙の写真



8月31日、大谷地区で打ち上げ花火が上げられました。これはコロナ禍による大谷風神祭が中止となったことを受け、風神祭実行委員会が五穀豊穡・疫病退散を願って実施したものの。区民の皆さんは打ち上げ時間が近づくと外に出てきて、家族で夏の夜空を彩る花火を眺めていました。

町長歳時記 （178）

「感動」の真実 ～東京オリンピック・

パラリンピックが伝えたもの～

人は歳とともに涙もろくなるのだろうか。感動にふと目頭が熱くなり、涙ぐんでしまった顔を、家人に見られまいと、不自然に視線を逸らす。鼻をかむような振りをして、ティッシュで顔を覆い目の涙を拭いて何食わぬ顔をして再びテレビの方に目を向ける。そんなことが幾度あったことだろうと、終わったばかりの東京2020オリンピック・パラリンピック大会の余韻を感じながら振り返っています。

日本のみならず全世界を覆い尽くしたコロナ禍の中、本当に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるのだろうか、誰もが心配した大会でありました。私たち一般国民にしてそうなのですから、選手の皆さんの気持ちについては、推し量る術さえ分からぬ程のギリギリの精神状態ではなかったのかと思われまふ。

大会前の世論調査では大会中止や再延期を求める声が8割ほどであったのが、パラリンピック閉会直後、某大手通信社による緊急世論調査では、東京パラリンピック大会が開催されて「よかった」と回答した人が約7割に上ったとの記事を目にしました。

オリンピックはもとより、パラリンピックアスリートの幾多の感動の場面が、多くの人々の目に触れ心を震わせることが出来た事実を、私たちは深く心に刻んでいかなければならないと思います。

人間の素晴らしさ。人間の持つ可能性への挑戦が、私たちの未来を必ずや最良のものへと導いてくれる。そう信じさせてくれる生きた指針として、東京オリンピック・パラリンピックが存在したことを歴史が証明してくれると確信しています。

朝日町長 鈴木浩孝

第1期の主な共同事業



コラボポロシャツの販売



共同開発した雨対策リストバンド



ミズノという一流企業から朝日町という小さい町のリンゴ農家の意見が採用されたことを誇らしく思います。製品化したものが自分たちだけでなく、県外の農家にもニーズがあることに驚き、次の商品化へのモチベーションが上がりました。

遠藤 直裕さん (ミズノ×若手農業者ワークショップに参加)

全国初のコラボロゴ

ミズノとの提携を全国にPRするため、全国でも初となるコラボロゴを制作。朝日中部活動や社会人チームユニフォームへの縫いつけ、一般販売用のポロシャツなど、多くのメディアにも取り上げられました。また、町若手農業者の会と同社の共同開発による「雨対策リストバンド」は町内のみならず町外・県外からも反響があり、農作業時等の負担軽減につながったとともに、町のPRに大きく寄与しています。

健康であるために

ミズノの運動指導のノウハウを活用したヘルシーライフ教室やノルディックウォーキング教室を行い、主に高齢者の健康づくりや病気・介護予防に対する意識を高めることができました。前田沢区ではミズノを含めたワークショップを通してウォーキングコースを設定。歩くことによる健康づくりを推進しています。また、親子スポーツ教室や足育講座を実施することで親と子が体の動かし方や、年齢にあった靴選びを学び、健やかな成長を支援してきました。



ノルディックウォーキング



ミズノからだスッキリ講座

ウォーキングマップをミズノと作ったことで、今まであまり行かなかった所も歩くようになりました。健康の貯金づくりと思って日々歩いています。5月に実施したウォーキングイベントも好評で、今後季節ごとの実施も考えています。



(前田沢ウォーキングコースの設定に参加) 熊谷 保勝さん

スポーツを身近に

リオオリンピック後の井上康生監督やラグビーワールドカップ後の田中史朗選手など一流スポーツ選手を旬なタイミングで招待して実技教室や講演を行うことで、スポーツに対する関心を高め、スポーツの身近さや楽しみ方、そして健康づくりにつなげていきます。また、小中学校及びスポーツ少年団等における各実技教室の実施により、大会記録や自己記録更新などの成果があり、指導者に対しても、専門的な指導法や知識等を伝える機会ができました。



プロ選手による実技教室



小学校での走り方教室



ミズノのインストラクターの方に来てもらい、これまでと違った練習を実施することで、子どもたちのモチベーションが上がりました。また、指導者側も専門家による新たな指導方法を学ぶ機会となりとても良い刺激になりました。

長岡 輝喜さん (ジュニアマラソンクラブ走り方教室に参加)



朝日町×ミズノ株式会社

元気な体で豊かな生活を

～チャレンジする官民連携のまちづくり～

平成28年3月から総合的なまちづくりで連携してきた町とミズノ株式会社。5年間にわたってこれまで様々な事業を実施してきました。今年7月には新たにまちづくり連携協定が締結され、さらなる連携の強化が期待されています。

今月号では町とミズノのこれまでの取り組みを振り返るとともに、町民の豊かな生活に向けて、どのように連携していくのかを特集します。

町とミズノ株式会社とのつながりは、平成26年度から平成28年度にかけて、スターブランド社の村尾隆介氏を町ブランド化推進プロデューサーとして招聘し実施したブランド化の取り組みがきっかけとなっています。

町は、急速に進展する高齢化に伴い、社会保障費の増加や健康寿命の延伸、医療費の抑制等が課題となっていました。一方でミズノは、少子高齢化に伴うスポーツ人口の減少により、培ってきたノウハウ等を健康づくりや日常生活のサポートなど、他分野への活用を模索していました。そこで、お互いが抱える人口減少や少子高齢化等の課題に協力して取り組むことを目的に、平成28年3月、総合的なまちづくりで連携していくことを発表しました。

官民連携による取り組みのスタートから5年。健康づくりやスポーツのみならず、農業や地域の活性化など、これまで様々な取り組みを実施してきました。また、平成30年度に策定した第6次朝日町総合発展計画の中でも、「生涯学習」「健康増進分野において、同社のノウハウを活用しながら目標の達成に向けて取り組んでいくことが示されています。

Interview

インタビュー



鈴木 浩幸 町長

まちづくり連携協定について、第1期の成果と今後の展望を鈴木浩幸町長と、連携当初から担当として取り組んでいただいているミズノ株式会社の川久保浩之上級専門職にそれぞれお話を聞きました。

**第1期の1番の成果は？
連携によって町民の自信と誇りに繋がったこと**

民間企業との初めての連携協定ということで、官民での連携方法の構築が課題でありましたが、5年間でミズノとの関わりが町民にも浸透したと感じています。特に通常ではつながりを持つことができない有名アスリートを町に招き、講演や実技指導を行っていたことで町民一人ひとりがミズノに近い存在に思ったのではないのでしょうか。コラボロゴや若手農業者とタイアップした製品開発、ウォーキング事業や子どもたちへの教室などミズノでなければできない

町がミズノに求めているものは？

専門分野でのノウハウを用いた健康寿命の延伸
グローバル企業であるミズノに長年蓄積してきた専門分野でのノウハウを朝日町のまちづくり・地域づくりへ生かし、ともに地域の良さを引き出してほしいと思っています。少子高齢化が進む中、高齢化率が県内第2位という朝日町においていまでも元気で健康でいられる「生涯現役」が目標です。身体機能の面でも研究さ

れているミズノからこの分野でも協力いただき、健康寿命の延伸、ひいては町民の幸せにつながる取り組みを実現していきたいと考えています。



「できる」「楽しむ」「続ける」をキーワードにした高齢者向け予防プログラム

**第2期の展望について
「歩く」ということを推進**

第1期の連携で行ってきた事業を元に第2期についてはさらに一歩踏み込んだ対応を目指していきます。中でも「歩く」ということについての健康増進を進めていきたいと考えています。いつでもどこでも気軽に取り組める事業を町民の皆さん一人ひとりに実施してもらうことで町全体の大きな動きとなり、町とミズノがお互いを高め合っていけることを目指していきます。

**第1期を終えて、朝日町から得られた成果は？
取り組みに熱量を持ち続けてくれたこと**

ミズノはこれまで13の市町村と連携していますが、中でも朝日町は進捗度や内容の濃さが違います。他の町では行政の一部門とのやり取りだけですが、朝日町はまち全体としてミズノとの取り組みにあたっているためです。コラボロゴのポロシャツから始まり、その後のイベントでも多くの方に参加していただきました。それだけ変わっていきたくて思っている町民が多かったのだと思います。ミズノとしても初めての取り組み

**第1期で印象的な出来事は？
第6次総合発展計画に携わらせてもらったこと**

まちづくりの基本となる町の最上位計画をつくる場に参加させてもらい、そこまで私たちを仲間に入れてくれるのかと感銘を受けました。会議では参加者の皆さんが町のことを好きな気持ちで感じ、改めて身が引き締まる思いでした。



「歩く」ことをサポートすることの一環として、足に合った靴を選ぶために足型の測定を実施

**第2期の展望について
「歩く」ことを当たり前にする状況をつくる**

第2期は町民の皆さんの健康をどう守っていくかというところをいの一番に取り組んでいきたいと考えています。鈴木町長も話していた「歩く」という人間の一番基本的な動作を町民の皆さんと見直していきたいと考えています。と言っても難しいことではなく歩くという当たり前のことを当たり前にする状況を実現化していきたいです。現在具体的な実施計画の最後の詰め段階までできていますので、今後のミズノにご期待ください。

さらに有意義な5年間へ

運動を通した病気予防に繋げるため、「歩く」という何気なくとっている行動に特化することで、運動負担の少ない取り組みを推進していきます。健康づくりという幅広い分野の中で、町とミズノ双方が「歩く」ことに注目しました。自分自身で歩き続けるということは、体力が維持されると共に、年を重ねてからの自立した生活を維持するためにも重要です。

まずは、歩く前のけが予防対策として、自身の足型を知る測定会の実施や歩数によって得られる病気予防効果を知る実技教室などを実施する予定です。これから5年間、連携しているからこそできる取り組みに積極的にチャレンジし、先進事例として発信するとともに、町民の皆さんの健康を支える取り組みを展開していきます。

病気の治療や予防となる「運動」

病気の治療というと薬を思い浮かべますが、薬を使わない非薬物治療というものがあります。代表的なものに食事療法と運動療法があり、運動は糖尿病や高血圧、脂質異常症等に有効なほか、「がん」に対する予防効果も世界がん研究基金から報告されています。この他にも認知症の発症予防や進行抑制、加齢による心身

の老い衰えを抑えることにも運動の重要性が指摘されています。とはいえ、運動を続けることは簡単ではありません。まずは買い物や掃除を日課にするなど日常生活運動量を増やしてみてもいいでしょうか。自分にあった運動を長く続けるようにしてください。何といっても薬と違って運動にはお金がかからないですから。



朝日町立病院
小林 達 院長



政策推進課
佐藤 修 課長

人権啓発・心のふれあいコンサート ～考えよう「みんな」の人権「あなた」の人権～

■税務町民課 住民生活係 ☎67-2119



楽器を弾きつつ足元の機械を操作して音を重ねる演奏



ハンディを乗り越えプロ奏者となった生い立ちを語る吉川さん

8月21日、創遊館を会場に「人権啓発・心のふれあいコンサート」が開催されました。

このコンサートは、人権啓発活動の一環として、山形人権啓発活動地域ネットワーク協議会と町が主催したもので。コンサートでは生まれつき左耳に聴覚障害を持ちながら、ジャズチェロ奏者として世界中で活躍する吉川よしひろさん（鶴岡市出身）が「パッフェルベルのカノン」など誰もが聞いたことのあるクラシックや「最上川舟唄」等を披露。吉川さんの「自分の音色をその場で録音・再生して音

を重ね合わせる演奏」に、強く心を引きつけられる会場の皆さん。

コンサートの中で吉川さんは、音楽学校で聴覚障害を理由としたいじめにあったことを語り、「耳の聴こえない人は音楽をやっちゃいけないの？」と奮い立ち、努力を続けてきたと話しました。コンサートの最後に、いろいろな国の人たちがそれぞれの言語や文化を持って行き交うニューヨークの交差点をイメージして作曲したオリジナル曲「タイムズスクエア」を演奏。観客が立ち上がりアンコールの拍手が沸き起こりました。

宝くじの助成金で背負式消火水のうを整備

■総務課 危機管理係 ☎67-2111



背負式消火水のうを装備した職員

町ではこのたび、コミュニティ助成事業を活用して、ホース延長が困難な場所での消火や林野

【コミュニティ助成事業】
一般財団法人自治総合センターで、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ活動に必要な備品、集会施設整備等への助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する事業です。

火災の残火処理等の際に活用する背負式消火水のう22着を整備しました。消防団の更なる災害活動能力の充実と強化を図ります。

渡辺良輔さんが町スポーツ少年団本部表彰を受彰

■教育文化課 生涯学習係 ☎67-2118



渡辺良輔さん（写真中央）と宮宿剣道スポ少の子どもたち

8月20日、渡辺良輔さん（前田沢）へ町スポーツ少年団本部から表彰がありました。

渡辺さんは平成21年度から10年以上宮宿剣道スポーツ少年団の指導にあたり、剣道を通した子どもたちの心と体の育成に努められました。この度の表彰はその功績に敬意を表するものです。

受彰を受けて、渡辺さんは、「親御さん方や周りの皆さんの協力によってこれまでやってこれた。これからも子どもたちと一緒に頑張っていきたい」と語っていました。

まちの未来について話し合う会議が行われました

■政策推進課 総合政策係 ☎67-2112



数値目標や達成度を記した評価シートに基づいて協議が行われた

人口減少と少子高齢化を可能な限り抑制するとともに、希望活動人口（※）を増やし、いつまでも元氣な町を次世代へつなげていくために、令和2年3月に策定された「第2期朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」その取り組みが適切に行われているかどうかを評価する同評価委員会が8月10日、町役場庁舎で行われました。

これは毎年1回行われるもので、今回は第2期戦略を策定してから初めての開催。町民や各種関係団体等

の代表者、学識経験者など8人で構成された評価委員会を中心として、町長、副町長、教育長と各担当課長が参加し、策定初年度の検証結果と評価について様々な意見が交わされました。

3つの基本目標（①若者たちの地元定着と交流・移住の促進を図る、②結婚に対する意識を醸成し、出産・子育てのしやすい環境を整える、③高齢者や障がい者がいきいきと住み続けることのできる環境を整える）を柱として、実施項目ごとにまとめた評価シートを元に協議。評価委員からは「令和2年度の出生者数が15人ということで、コロナ禍であるが非常に少ないと感じる。普通のこととしては人口減少には歯止めがかからない。思い切った施策が必要なのではないか」「朝日町は若者や子育て世帯にとって希望を持てるような施策が十分でない。例えば小学生への英語教育について、朝日町で子育てすると英語が堪能になるなど、小さい町だからこそできるといった施策を期待したい」など、率直な意見が数多く出され、活発な会議となりました。

（※）町の将来に希望を持ち、より良い町にしようと活動する人。

東京2020パラリンピック採火式

■教育文化課 生涯学習係 ☎67-2118



火のモニュメントにて採火を行う堀教育長

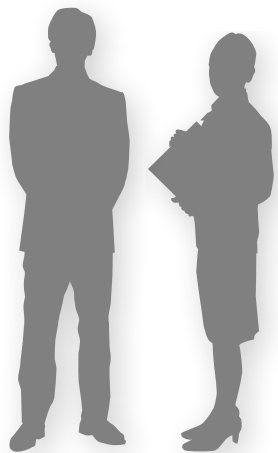
8月13日、空気神社の参道にて、東京2020パラリンピック聖火リレーのための採火式が行われました。

山形県の採火は、県内全35市町村にて共生社会への思いを込め、それぞれの伝統や文化、産業などをPRできる独自の手法にて行われました。朝日町では世界で唯一、空気をまつる空気神社の参道で、五行のモニュメント（木・火・土・金・水）の火のモニュメントから採火を実施。火を灯すろうそくには、ハチ蜜の森キャンドルの蜜ろうが使用され、澄みわたる清浄な空気の中、蜜ろうの優しい光がランタンに分灯されました。

採火された聖火は、堀俊一教育長の手により、16日に県総合運動公園陸上競技場（天童市）で行われた山形県集火式へと運ばれ、一つに集約。その後、東京で行われた集火式・聖火リレーへとつなぐられ、パラリンピックの聖火となりました。

職員の人事と給与等を公開します

「朝日町人事行政の運営等に関する条例」第4条の規定に基づき、町職員の人事や給与等を公開します。



01 職員の任免および職員数に関する状況

▶部門別職員数と主な増減理由（各年4月1日現在）

部 門	職員数		増減	主な増減理由
	2 年	3 年		
一 般 行 政	議 会	2	2	0
	総 務	26	26	0
	税 務	7	6	△1
	農林水産	8	8	0
	商 工	5	6	1
	土 木	7	7	0
	民 生	8	7	△1
特 別 行 政	衛 生	5	6	1
	小 計	68	68	0
	教 育	20	21	1
公 営 企 業	小 計	20	21	1
	病 院	47	48	1
	水 道	3	3	0
	その他	10	10	0
	小 計	60	61	1
合 計		148	150	2

※職員数は、フルタイム勤務再任用職員を含み、短時間勤務再任用職員を除いています。

▶採用者、退職者数（令和3年4月1日現在）

年度	令和元年度	2 年度	3 年度
採 用 者	4	6	3
退 職 者	6	8	—

▶年齢別職員構成の状況（令和3年4月1日現在）

区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳以上	計
職員数(人)	1	7	11	23	16	17	13	18	16	11	17	150

▶一般行政職の級別職員数の状況（令和3年4月1日現在）

区分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
職 名	主事 主事補 技師	主事	主任	主査 係長	課長補佐	課長 議事事務局長 事務長	
職員数	28 人	15 人	10 人	20 人	10 人	11 人	94 人
構成比	29.8%	16.0%	10.6%	21.3%	10.6%	11.7%	100.0%

※朝日町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

02 職員の給与等の状況

▶人件費の状況（令和2年度一般会計決算）

住民基本台帳人口 (R3.1.1 現在)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費比率 (B/A)
6,556 人	63 億 2,653 万円	4 億 8,424 万円	8 億 7,019 万円	13.8%

※人件費には、特別職などに支給される給与・報酬等を含みます。

※令和元年度の人件費率は 14.0%。

▶給与費の状況（令和3年度一般会計予算）

職員数 (A)	給与費				一人あたり給与費 (B/A)
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	合 計 (B)	
90 人	3 億 2,325 万円	7,699 万円	1 億 2,179 万円	5 億 2,203 万円	580 万円

※職員手当には退職手当を含みません。※給与費は一般会計当初予算の額です。

※職員数は、フルタイム勤務再任用職員を含みます。

02 職員の給与等の状況（右ページつづき）

▶期末・勤勉手当の状況（令和3年4月1日現在）

	朝日町	国	比較
期末手当	(月分) 2.50	(月分) 2.55	(月分) △0.05
勤勉手当	1.85	1.90	△0.05

※職制上の段階、職務の等級による5%～15%の加算があります。

▶平均年齢、給料月額及び給与月額（令和3年4月1日現在）

職種	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	38 歳 9 カ月	291,500 円	380,600 円
技能労務職	55 歳 3 カ月	323,700 円	340,300 円

※給与は給料及び諸手当を含んだ額です。

▶退職手当の状況（令和3年4月1日現在）

区 分	朝日町	
	自己都合	定年／勸奨
支 給 率	勤続 20 年	19.6695 月分
	勤続 25 年	24.586875 月分
	勤続 35 年	33.27075 月分
	勤続 35 年	47.709 月分
最高限度額		47.709 月分
その他の加算措置		定年前早期退職特例措置(2%～45%加算)
1 人当たり平均支給額		1,555 万円

※平均支給額は、令和2年度中に退職した職員に支給された平均額です。

▶時間外勤務手当（一般会計決算）

区分	支給総額	職員一人当たりの年間支給額
令和元年度	3,128 万円	355,490 円
令和2年度	2,914 万円	331,089 円

※選挙に係る時間外勤務手当を含んだ額です。

▶その他の手当（令和3年4月1日現在）

区分	支給総額
扶養手当	一般の扶養親族…6,500 円、子…10,000 円／月。 扶養親族たる子のうち満 16 歳の年度初めから満 22 歳の年度末までの子につき 5,000 円加算
住居手当	借家の場合支給。限度額 28,000 円
通勤手当	交通機関利用…限度額 55,000 円 交通用具使用…限度額 20,900 円

▶職員の学歴別初任給（令和3年4月1日現在）

区分	朝日町	国
一般行政職	大 卒	185,100 円 (総合職) 195,500 円 (一般職) 182,200 円
		152,300 円
技能労務職	高 卒	146,300 円
	高 卒	—

03 特別職の報酬等の状況（令和3年4月1日現在）

	区分	月額報酬	期末手当
給 料	町 長	820,000 円	6 月期 1.625 月分 12 月期 1.625 月分 計 3.25 月分
	副町長	635,000 円	
	教育長	575,000 円	
報 酬	議 長	310,000 円	
	副議長	250,000 円	
	議 員	235,000 円	

※期末手当については、給料（報酬）月額に 40%の加算があります。

04 職員の勤務時間、休暇等の状況

▶勤務時間の概要（令和3年4月1日現在）

区分	内 容
始業時刻	午前 8 時 30 分
終業時刻	午後 5 時 15 分
休憩時間	正午～午後 1 時

▶休暇制度の概要・種類等（令和3年4月1日現在）

区分	要件及び日数
年次有給休暇	年 20 日（20 日を上限に残り日数を翌年に繰越可）
病気休暇	90 日（病気内容により最長 1 年）
主な特別休暇	女性職員の 出産
	産前 8 週（多胎妊娠の場合にあっては 14 週）、産後 8 週
	職員の結婚
	5 日以内
忌引	配偶者 10 日、父母 7 日、子 5 日
	夏季休暇
	5 日以内（7 月 1 日～9 月 30 日までの期間）

05 職員のサービスの状況（令和2年度）

▶職務専念義務の免除

職員には、地方公務員法の規定に基づき、職務に専念する義務が課せられていますが、条例により研修を受ける場合、厚生に関する計画の実施に参画する場合、消防団員として消防活動に従事する場合等は、職務に専念する義務が免除されます。

▶営利企業など従事の許可

地方公務員法により、営利企業の役員等の就任又は、報酬を得て事業に従事してはならないことになっています。従事する場合には、任命権者の許可を要することになっています。

▶育児休業

子供が 3 歳に達するまでの期間、任命権者の承認を得て、子供を養育するため休業することができます。育児休業期間については、給与は支給されません。（※令和2年度取得者…2 人）

06 職員の福祉および利益の保護の状況

▶福利厚生制度

共済制度として、山形県市町村職員共済組合では、職員とその家族の病気、ケガ、出産などに対して必要な給付を行っているほか、退職者等に対して年金等の給付を行っています。また、山形県市町村職員互助会では、慶弔的な給付事業や保健事業を補完する事業を行っています。そのほか、職員組合が行う町職員の福利厚生に関する事業の一部に補助しています。

▶公務災害補償の状況

公務災害などの認定状況（令和2年度）

公務災害	通勤災害	計
1 件	0 件	1 件

07 分限及び懲戒処分の状況（令和2年度）

▶分限処分

免職	休職	降任	降給	計
0 人	1 人	0 人	0 人	1 人

▶懲戒処分

免職	停職	減給	戒告	計
0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

08 職員の研修の状況（令和2年度）

主催	内容	回数	延べ受講者数
市町村職員研修協議会等	新採、課長級職員研修等	13 回	18 人

撮影協力：朝日町消防団女性消防部



気道の確保
頭を後ろに下げ、あごの先を上げて空気の通り道を確保



胸骨を圧迫
手のひらを重ね、肘を曲げずに胸の真ん中に手のひらの付け根を当て、垂直に30回圧迫



呼吸・心停止の確認
胸と腹の動きを見て、「普段どおりの呼吸か」10秒以内で確認



119番通報と協力者へ依頼
反応がなければ、大きな声で「誰か救急車を呼んで」「AEDを持ってきてください」と依頼する



意識の確認
「大丈夫ですか？」と呼びかけ、肩を軽くたたき、反応を確認



周囲の安全確認
倒れている人を発見したら、近寄る前に落下物や危険がないか周囲の安全を確認

〈心肺蘇生法の手順〉

心肺蘇生法の補足

- ・AED到着前は毎分100～120回の速さで胸骨を圧迫。中断をせずに1～2分で交代しながら行う
- ・AEDが到着したら速やかに使用する
- ・目的のあるしぐさが出るか、救急車が到着するまで心肺蘇生法を続ける

コロナ禍における心肺蘇生法

- ・胸骨圧迫の開始前、ウイルスの飛散を防ぐため、ハンカチ等を傷病者の鼻口にかぶせる
- ・成人の心停止に対しては、人工呼吸を行わずに胸骨圧迫とAEDによる電気ショックを実施
- ・子どもの心停止に対しては、救助者に人工呼吸を行う意思がある場合は人工呼吸も実施する（子どもの心停止は、窒息や溺水など呼吸障害を原因とすることが多く、人工呼吸の必要性が比較的高いため）

参考：令和2年5月22日付け
医政地発0522第1号
救急蘇生法の指針2015（市民用）の追補及び周知について



⑤～⑦を継続
胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を継続して行う



人工呼吸
鼻をつまみ、約1秒かけて胸の上がりが見える程度吹き込む



小児の胸骨圧迫
片手を胸の真ん中に当て、深さは胸の厚さの約1/3、垂直に30回圧迫。片手では圧迫が困難な場合、両手でもよい



乳児の胸骨圧迫
手指2本を胸の真ん中に当て、深さは胸の厚さ約1/3、垂直に30回圧迫

朝日町消防団のポンプ庫（自動車及び積載車）にはAED（写真左）が設置されています。設置の目印として消防団ポンプ庫のシャッターにはこのマーク（写真右）が表示されています。誰でも使用できるAEDですので、万が一のときには積極的に活用しましょう。



9月9日は救急の日

目の前で人が倒れたそのときに

～いざというときのために心肺蘇生法を身に付けましょう～

家族や友人など大切な人が目の前で倒れ、呼びかけても返事も身動きもしないとき、あなたならどうしますか。

心筋梗塞や不整脈などで、突然心臓が止まった人の命を救うためには、心肺蘇生法や電気ショックを速やかに行うことが重要です。いざというときに迅速な行動がとれるよう、この機会に学んでみましょう。





▶ビー玉が敷き詰められ時間により
ライトの色が変わる星空手水

8/13-15

夜の境内を優しい光でライトアップ

豊龍神社「夜間参拝」

8月13日から15日までの3日間、豊龍神社で夜間参拝が行われました。午後7時から9時の間、参道をキャンドルで照らし、手水舎や大杉のライトアップをしたもの。同神社の豊嶋宏行宮司は「お盆というお寺のイメージが強いのですが、元々は古くからの日本の風習で、宗教を問わずご先祖様をお参りするという期間となっています。お寺だけでなく神社にも足を運ぶきっかけづくりとして、このたび企画しました」と話します。訪れた人々は境内を優しく彩る柔らかな光をゆったりと楽しんでいました。



◀練習前に足型を測定し、個人に合った靴の選び方やトレーニングを学んだ

8/20

まちづくり協定を締結しているミズノ(株)が協力

ジュニアマラソンクラブ「走り方教室」

8月20日、朝日中学校を会場にジュニアマラソンクラブの走り方教室が行われ、約20人が参加しました。町とまちづくり協定を結ぶミズノ(株)の協力で、ミズノスポーツサービス(株)より井上響さんが講師として来町。あいにくの雨でしたが、井上さんは町マラソンクラブ会員とともに、基礎体力作りや体の使い方、ストレッチなどをクラブの子どもたちに指導しました。参加者の1人は「キツイけど楽しかった。背が伸びるよう教えてもらったストレッチを毎日しようと思う」と話していました。

9/3-24

「救急の日」の啓発活動

園児たちによる救急車の絵を展示

9月3日から創遊館ロビーにあさひ保育園5歳児クラスの園児が描いた救急車の絵を展示しています。これは毎年9月9日の「救急の日」前後に実施しており、このたび展示している絵は、朝日分署の救急車が保育園を訪れたときに実物を見ながら描いたもの。どの園児の絵も一生懸命に描いたことが伝わる素晴らしい出来となっており、絵を見た創遊館への来館者を和ませていました。展示は9月24日まで行われています。ぜひご覧ください。



▲▶救急車が園児たちによって様々な角度から描かれました

9/9

今回はから揚げに挑戦！

男の料理教室（初級・弁当コース）

町食生活改善推進協議会（志藤一枝会長）主催の「男の料理教室（初級・弁当コース）」が、9月9日に北部公民館で行われ、4人の男性が参加しました。今回のメニューはすすたけご飯と鶏肉のから揚げ、人参ともやしのナムルとナスのレンジ蒸し。今回は感染症対策として、会食をせずに弁当を作りました。参加した長岡芳市さん（太郎第一）は「手際よく調理することができ、おいしく作ることができたと思います」と笑顔。次回の教室は10月5日開催でメニューは豚肉の生姜焼きの予定です。



◀彩りも鮮やかなお弁当が完成！

▶ホームページに写真



◀ベルトコンベアーに載せられた後、
茎と実に分けられ絞り機へ
▼機械により絞られたブドウ果汁。
甘い匂いが一面に漂っていました。



▶1、2学年は感染対策のため別室でのリモートによる傍聴を実施



8/10

良質なブドウの収穫と仕込み作業の安全を祈願

ワイン仕込み作業「安全祈願祭」

有限会社朝日町ワインで8月10日、ブドウ収穫感謝とワイン仕込み作業の安全を祈る「安全祈願祭」が行われました。

今季のワイン仕込み作業を始めるにあたり、今年も良質なブドウが収穫できたことに感謝するとともに、仕込み作業の安全と質の高いワインの醸造を祈願。神事では祝詞奏上の後、出席者代表が神棚に玉串とブドウを奉納しました。その後、出席者によって新鮮な県産のデラウェアが次々にベルトコンベアーに載せられ、仕込み作業が始まりました。佐藤丈助専務取締役は、「春先に霜による被害があったものの、その後の管理と好天に恵まれたこともあり、順調に推移している。これからブドウの成熟期にとって申し分のない天候となることを祈り、高品質のブドウが収穫できることを期待したい」と話していました。仕込み作業は11月末頃まで行われ、今年は白系150トン、赤系150トンの合計300トンが仕込まれる予定です。

9/1

学校生活や部活動、家庭での思いを主張

第60回寒河江西村山地区少年の主張大会

寒河江西村山地区防犯協会連合会が主催する少年の主張大会が9月1日、朝日中学校を会場に行われました。地区内の各中学校から選ばれた14人が、学校生活や部活動、そして家庭生活などを通して感じたことを発表。抑揚を効かせて感情がこめられた語り口の主張に、審査委員を始めとした傍聴者たちは聞き入っていました。

朝日中からは堀龍空さん（本町）と小松萌姫さん（ハツ沼）が出場。堀さんは「僕たちに不法投棄のつけを払わせないでほしい」と題し、山菜を採りに山に入った際、不法投棄が行われている現状を知り、自然を守るためにどうすべきかを主張。小松さんは「生きるとは幸せです」とし、インターネットで読んだ障害のある方の作文によって、それまでの自分が思う幸せに対する見方が変わったことで感じた自分の思いを主張しました。14人全員の主張が終わると主張の論旨や表現などの審査基準のもと審査会議が行われ、堀さん、小松さんは努力賞を受賞しました。



7年前から榎平の棚田の一部をお借りして小さく米作りをさせてもらっています。日本の棚田百選にもなっているこの場所で、一緒にお米を育てる体験をしてみたいかと呼びかけたところ、今年は県内から20人近い参加希望があり、5月末に手植えで田植えを行いました。

その後、ここ数年実験しているアイガモロボットを使った水中除草作業を6月始めから3週間ほど行いました。こちらはロボット掃除機のような動きで田んぼの中を泳ぎまわり、雑草の成長を阻害する効果が狙いです。このロボットはソーラーによる給電とGPSによる自動運転となっています。この実験の



町地域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平情報交流総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「アイガモロボから稲刈りの季節へ」

情報交流総合アドバイザー 佐藤 恒平 (福島県出身)



(株)有機米デザイン製アイガモロボ (仮)



田植えのために県内から集まった皆さん

様子は、全国放送でも取り上げていただきました。果たしてこのロボットは「アイガモなのか?」(アヒル隊長ではないか?)というツッコミはさておき、そこそこの除草効果が実感できる実験となりました。

そして、いよいよ米作りの総決算、稲刈り&杭がけのシーズンが迫ってきています。昨年、今年とみんなで集まって収穫を喜ぶイベントは難しそうですが、手伝ってくれた多くの方が家で美味しくお米が食べられるように、今年はお土産持ち帰りパッケージでもデザインする予定です。とつてもローテクな手植えと、未来の農業アイガモロボ、2つの力が合わさったお米を食べることが、この秋の1番の楽しみです。



災害に対する家庭での備え ～これだけは準備しておこう～

【令和3年度 第6回】

今月の担当… 木村 朋恵 主査兼保健医療係長



9月は「防災週間」があり、私たちの日頃の健康管理ともかわりが深い、生活の中における防災への備えを少し考えてみたいと思います。

首相官邸のホームページでは災害に対する家庭での備えを紹介しています。

○家具の固定や置き方の工夫、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておこう

○食料・飲料・生活必需品などの備蓄は3日分用意しておこう

(飲料水・非常食・トイレペーパー・ティッシュペーパー・マッチ・缶詰・カセットコンロなど)

○非常持ち出しバッグを用意しておこう

(飲料水・食料品・貴重品・ヘルメット・防災頭巾・マスク・軍手・懐中電灯・携帯ラジオ・充電器・電池、衣服・下着・毛布・タオル・洗面用具・ウェットティッシュ・携帯トイレ・乳児のいる家庭はミルク・紙おむつ・哺乳瓶など)

以前避難所で、持病がある方から飲んでいる薬を忘れて

しまったと相談されたことがあります。一般的に災害が発生してから3日間は支援が行き届かないことも多く、いざというときの備えとして、薬がなくならないようにしておくことは日頃から意識しておきたいことです。喘息や心臓病などの命に係わるような大切な薬を使っている人は特に注意が必要です。

また、どんな薬を飲んでい

るかわかるように受診する都度にお薬手帳をコピーして財布などに入れておくという話を聞いたことがあります。

いざというときに自分や大切な人の健康を守るために、生活必需品の備蓄や薬のことなど確認してみることもいいのではないのでしょうか。

▼問合せ先
健康福祉課 保健医療係
☎67・2116

首相官邸
ホームページへ



町全体が博物館！ 朝日町エコミュージアム サテライト散策



【一言メモ】 えん堤の上から眺めたため池は、林に囲まれた湖のようです

ながやち 第48回 長谷地ため池

【DATA】 県道中山・三郷・寒河江線の水本集落から北西に入り約1.2km、車両侵入禁止の柵から500m歩く。

送橋川から取水している中郷本田堰の水源にするために、嘉永6年(1853)に着工し明治33年(1900)に完成したのが、元の第2ため池でした。その上に造成した第1ため池は昭和26年(1951)にできたものです。朝日町土地改良区は平成26年から第2ため池を無くして第1ため池のかさ上げをする工事を始め、完成は令和3年度中の予定です。えん堤の工事はほとんど終わっており、第2ため池の貯水量分も含め、新しいため池に蓄えられた水は送橋川に安定した水を流しています。

まだ工事中で、途中から歩いて行くだけれど、撤去された第2ため池のえん堤跡を見ることができるんだよ。また、杉山に向かう町道を進み、りんご園の傍を通る道に入ってもため池を見ることができるんだ。工事の前はフナが多くいて釣りに来る人もいたけど、工事の為に一時的に水を全部抜いたから、フナがいなくなってしまい残念だったな。

案内人の
つぶやき



町立図書館新刊案内

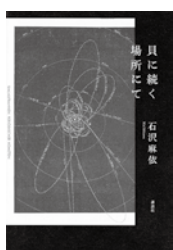
第165回芥川賞受賞作
「彼岸花が咲く島」



李琴峰 著
文藝春秋

記憶を失くした少女・宇実が流れ着いたのは、ノロと呼ばれる指導者が統治し、男女が違言葉を学ぶ島だった。宇実が島の少女遊郎と少年拓郎と、この島の深い歴史に導かれていき。『文藝春秋』掲載を単行本化。

第165回芥川賞受賞作
「貝に続く場所にて」



石沢麻依 著
講談社

ドイツの学術都市に暮らす私の元に、2011年3月の震災で行方不明になったはずの友人が現れる。『ノロ』が影を落とす異国の街に、9年前の光景が重なり合い…。静謐な祈りをこめて描く鎮魂の物語。『群像』掲載を単行本化。



【ブックテーマコーナー】
特集 9月12日は「宇宙の日」

戸籍のまど

Asahi town

8月1日～8月31日届出

Births

すこやかに

区 名	出生児氏名	性別	保護者名
常 盤	佐 竹 心 望	女	翼・夏希
本 町	布 施 匠 望	男	正徳・裕美
前田沢	志 藤 光 晟	男	広史・里美

Obituaries

やすらかに

区 名	死亡者氏名	世帯主名
栗木沢	白 田 トミ子	義 幸
常 盤	長 岡 貞 雄	美津子
太郎第二	長 岡 ひ で	文 子

Population

人口と世帯数

●令和3年 8月31日 現在

※()内は先月比

人 口	6,422 人 (－ 3)
男	3,189 人 (± 0)
女	3,233 人 (－ 3)
世帯数	2,379 世帯 (－ 2)

----- 8月中の異動 -----

出生	4人	転入	8人
死亡	5人	転出	10人

(※外国人を含む)



ALT のオリビア先生が帰国します

当町の ALT (外国語指導助手) のオリビア先生が2年間の任期を終えて帰国することとなりました。先生からのお別れのメッセージを紹介します。

朝日町のみなさんへ

ジェットプログラムから住む場所を初めて伝えられた時、私はすぐに英語で「モーニングサン」が頭に浮かびました。モーニングサン (朝日) は、美しい、輝かしいというイメージで、偶然にも、私の母も Dawn (夜明け) という名前です。ここに来てもう2年が過ぎてしまったことが信じられません。私は、今でも時々この小さな町の新人のような気になる時もあれば、住み慣れた自分の町のようにも感じています。私がここで受けたみなさんからの優しさ、寛大さ、暖かさに感謝します。子どもたちの家族の皆さん、自分の家に快く招き入れてくれた方々、お世話してくださった方々、日本の生活について教えて下さった方々に感謝します。

私は、大学を卒業して1か月後に日本に来ました。この町で、東北のおもしろく隠れた文化を学んだだけではなく、たくさんの生活の知恵を学びました。私がこの先、自分の人生で大切にしたいことは、寛大さです。私もこれから出会う人たちにこの寛大さを持って接していきたいです。ぜひお元気で過ごしてください。そして、英語の学習も続けて下さいね。早くコロナが終息し、私と私の家族がこの町を訪問できることを願っています。私の家族は、みなさんの優しい顔や新鮮な野菜 (ダチョウも!)、美しい自然を写真でしか見ていません。私の家族は、朝日町の生活を実際に体験したいと思っています。もし、アメリカやコロラドに来ることがあれば、私がお案内します。その時は、おいしい朝日町のりんごと山形のお米を持ってきてくださいね。

朝日町の子どもたち、先生方、たくさんの素敵な思い出をありがとうございました。給食もおいしかったです！私が働きやすい環境を作って下さった教育委員会のみなさん、ありがとうございました。最後に、朝日町で出会った素敵で優しい寛大な友人に感謝します。決して忘れません。

I'll miss you all.
See you again! Olivia

8月26日、幸作りんご園の園主佐藤淳さん (平) がクラウドファンディング (※①) を活用して資金を集め、平区にこれまでなかった自動販売機 (自販機) を同園前に設置しました。設置した佐藤さんは「これまで一番近い自販機までは約3キロ、コンビニまでは約6キロと遠く、飲み物を購入するには時間がかかり、災害で道路が寸断されると陸の孤島になってしまいう不安がありました。そこで、飲料の自販機を設置することで少しでもその不安が解消されるのではなにかと思いいこのプロジェクトを立ち上げました」と語ります。当初は飲料メーカーに自販機設置を依頼したものの、僻地であることや冬の積雪が障壁となり断られた経緯があり、自ら機械を購入設置しようと思いついたそうです。



▲設置した自販機と佐藤さん

「支援してくれた方はウサビのSNSを見た方やゲームで朝日町を知って応援してくれ

クラウドファンディングを活用して平区に自動販売機が設置されました

ている方等が多く、中にはリターン (※②) 無しで支援してくれた方も。全国各地から支援をいただき本当にありがたいです」――。自販機を見ながら佐藤さんはそう語っていました。

自販機の中身は佐藤さんが自由に配置しています。今後商品の構成を考えたり、冬期間は温かい飲料を販売したりとニーズに合わせて内容を変更するとのことでした。

※①…インターネットを紹介して多数の人々から少額ずつ資金を調達する仕組み

※②…ふるさと納税でいう返礼品のように、支援してくれ

オリビア先生、ありがとうございました





コロナ禍の今年は一升瓶ワインを特別価格で販売

朝日町ワインまつり実行委員会は令和3年度朝日町ワインまつりの中止を決定し、このたびその代替企画として9月11日から町民限定先行販売で「おうちでワインまつりスペシャルセール」を実施します（9月24日からは町民以外の方も購入可）。スペシャルセールの限定の1升瓶ワインを本来2,330円のところ特別価格1,650円で販売しています。また、自宅等でワインまつりの雰囲気味わってもらおうと、おうちでワインまつり動画（上写真）を動画サイトで公開。「中止報告なのに朗らかすぎる！」とSNSで話題となった湊流まつり動画と同様、鈴木浩幸町長と桃色ウサビがまつりの魅力を語っています。撮影・編集は地域おこし協力隊つながり創出推進員の田岡知曉さんが手がけました。朝日町だからこそできる攻めの動画をぜひご覧ください。

《限定ワイン取り扱い店舗》
 ■Asahi自然観 ■朝日町ワイン ■阿部正博商店 ■阿部正博商店三店 ■J.A.グ
 リ朝日店 ■セブンイレブン朝日町宮宿店 ■りんご温泉 ■ヒグチ ■道の駅あさひま
 ちりんごの森 ■後藤商店



「おうちでワインまつり」限定のラベルを使用

今月号では今年7月、新たにまちづくり連携協定を締結したミズノ株式会社との関わりについて特集しました。運動をした方が良いというのは誰もが分かっていることですが、それでも継続して運動をすることはなかなか難しいものです。私も「毎日運動をしよう！」と始めても忙しくなってくると「また今度でいいか」と休んだが最後、時間ができてきても当分やらなくなってしまう。今後町とミズノは「歩く」ことを推進していくことが特集の中で



健康に向け踏み出す一歩を町とミズノがバックアップ

示されています。運動できない・しない理由というのは人それぞれですが、「歩く」ということは多くの方が普段やっていることです。そこにミズノが協力してくれるのであれば、できる気がしませんか？
 最近ミズノのウォーキングシューズを購入しました。それこそ三日坊主になり宝の持ち腐れにならないよう歩きたいと思います。

鈴木 貴典